

# 南アルプス市立白根巨摩中学校 学校関係者評価書（前期）

白根巨摩中学校 第1回 学校関係者評価委員会

令和6年9月6日作成

実施日 令和6年9月5日（木） 午後5時～  
会場 白根巨摩中学校 校長室  
参加者 学校関係者評価委員 4名  
浅利 司（元白根巨摩中校長）  
堀内 久（PTA会長）  
芦沢 秀樹（西野地区自治会長）  
内藤 永次（山梨中央銀行白根店長）  
学校職員 3名  
矢吹 和信（校長）  
雨宮 文（教頭）  
足達 敏弥（教務主任）

## 内容

- 1 学校から提案された内容
  - (1) 学校関係者評価の意義について
  - (2) 白根巨摩中学校学校関係者評価委員会会則の確認
  - (3) 委員長・副委員長の選任
  - (4) 1学期の学校評価について
    - ・自己評価結果についての説明
    - ・生徒の現状についての説明
- 2 評価されたおもな内容  
領域別・評価項目別の自己評価考察について評価委員が考察検討

## 学校関係者評価

### 1 全体評価

総合的な平均が4.5(A-5点 B-4点 C-2点 D-1点として平均を出したもの)となったことは、教職員一人一人の意識が高く、日々の実践が着実に進んでいる成果であると評価できる。また、生徒アンケート結果の平均も4.5であり、指標の4.0を大きく上回っており、生徒にとっても良い環境で取組が行われていることが伺える。

今後は、「授業でのICTの有効活用」、「部活動指導」、「家庭学習の定着」の3点の課題を見据えながら、教職員が同僚性を発揮し、個々の生徒や保護者に寄り添った支援を継続していくことが必要となる。そのためにも、教職員の働き方改革をすすめ、きめ細かな教育実践を推進してほしい。

### 2 自己評価書に見る課題と対応について

#### ○学校運営

- ・先生方の目標意識の共有や協力体制が良好であることが伺える。先生方もがんばっている、生徒も落ち着いて生活している様子が見られることがアンケートからも読み

とれる。

- ・先生方が生き生きと働くことができなければ、生徒に良い指導はできない。保護者の協力を得ながら、部活動の地域移行や業務改善がさらに進み、先生方にとって働きやすい職場となるよう、多忙化改善及び働き方改革を進めていってほしい。そうすることで、一人一人の生徒に寄り添った教育活動がさらに展開できると思う。
- ・メンタルヘルスの維持がとても大切になってくる。今後も管理職が先生方に寄り添い、支えてほしい。

#### ○教科指導

- ・ICTの活用に関わる数値が上がったことは、取組の成果である。これからの時代を生きていく生徒に必要な力を身に付けさせるためにも、メディアリテラシーも含め、教職員の研修等も充実させながら、有効活用に努めてほしい。
- ・不登校の生徒の学習や対応でもICTをさらに効果的に活用してほしい。保護者も期待しているところだと思う。

#### ○生徒指導

- ・生徒の様子を見ていて、友達との関係性や雰囲気がとても良い。2学期は学園祭や合唱発表会など様々な行事がある。自治的な活動を尊重しながら、教職員がその活動を支え、全体と個々への両面の支援を行ってほしい。
- ・関係機関や専門機関との連携を行いながら、一人一人の生徒の持つ課題に寄り添った支援ができるように、職員間の共通理解を図っていくことが大切である。

#### ○特別活動

- ・学習面も大切だが、教科指導以外の生徒会活動や行事を通して学ぶことの意義は大きい。学校でしか味わえない感動や経験を大事にしたい。ただ、生徒の視点に立つとどの行事も活動もなかなか削減できないが、その目的を先生方でよく話しあい、検討しあいながら、業務削減につなげていってほしい。
- ・先生方の自由記述に綴られた人手不足からくる負担に対する思いを2学期以降の活動に反映できると良い。

#### ○健康安全・その他

- ・先生方の意識の高さが伺える数値となっている。年々、暑さが増している。熱中症対策として、活動時間の見直し、エアコンの積極的な使用、WBGT（暑さ指数）などデータに基づいた判断など、きめ細かな様々な対応をこれからも継続し、生徒の安全第一、健康第一で活動を進めていってほしい。
- ・スマホの所持率は年々上がっている。また、スマホに関連するトラブルも増加している。スマホの正しい使用などに関わる学習や集会などを今後も継続的に実施すると同時に、第一義責任者である保護者への意識向上も図ってほしい。
- ・先生方のがんばる姿を見て、生徒もがんばれると思うので、先生方を様々な面からサポートしていきたい。そして、働き方改革が進むと良い。

### 3 特記事項

○評価委員より、次の3点について今後も学校経営の課題として取り組むよう提言があった。

- ① 教職員の負担軽減につながる業務改善
- ② ICTのさらなる有効活用
- ③ 不登校等の生徒への継続的な関わり

記載責任者

白根巨摩中学校学校関係者評価委員会 委員長 浅利 司  
副委員長 堀内 久

